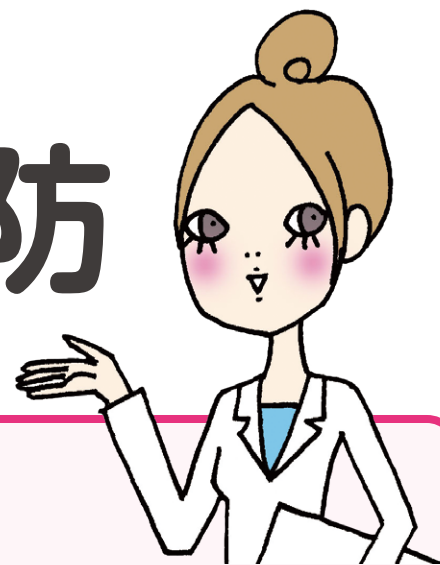


子宮頸^{けい}がん予防



子宮頸^{けい}がんは、
10代からのHPVワクチン接種と
20歳からの定期的な子宮頸^{けい}がん検診(2年に1回)
で予防可能な疾患です*。

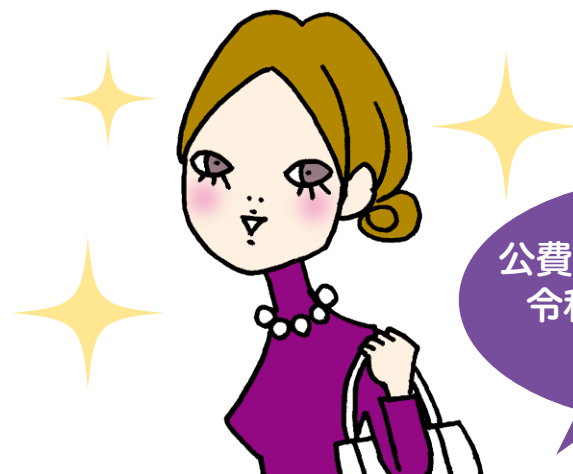
*: ワクチンは、子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。

HPV: ヒトパピローマウイルス



定期接種

小学校6年生～
高校1年生
相当の女子
(11歳～16歳)

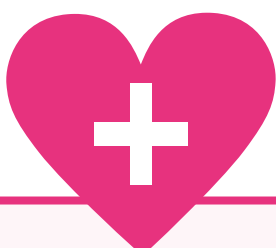


公費で接種できるのは
令和7年(2025年)
3月末まで

キャッチアップ接種

平成9年度生まれ～
平成18年度生まれの女性
10学年
(16歳～26歳: 令和5年時点)

[キャッチアップ接種]
HPVワクチンの積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した女性が存在する。こうした女性に対して公平な接種機会を確保する観点から、時限的に、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行うこと。



20歳を過ぎたら定期的な検診を

厚生労働省 ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種を逃した方へ～キャッチアップ接種のご案内～
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html (Accessed Feb. 10, 2023)